

ID	患者様名		病名		特別な栄養管理の必要性	● 無 ○ 有		★退院指導★
看護師	薬剤師	栄養士	症状	リハビリ計画	☑ 無 ☐ 有			
治療日			時	総合的な機能評価		問題なし		
日付	治療当日		術後1日目	術後2日目	退院日			
経過	入院日・治療前日		手術前	手術後	術後3日目		退院日	外来診察担当医 () 外来受診日 年 月 日 時 分
目標	不安なく手術を受けることができる		痛みや不安を看護師に伝えることができる	痛みが緩和され傷口からの出血がない尿が出にくかったり残った感じがなく過ごすことができる	退院後の生活について理解ができる		検査内容 予定日 () 年 月 日 時 分	
点滴	特にありません		手術室より持続点滴が始まります 抗生剤があります	朝の抗生剤が終了次第 点滴を抜きます	特にありません		退院時の お薬 有 ・ 無	
内服	内服しているお薬があれば 看護師にお知らせください 抗血栓薬、糖尿病薬は医師の 指示にて中止となります	朝の内服 (有・無) 医師の指示があります	特にありません	持参薬を再開します 抗血栓薬、糖尿病薬は医師の 指示にて再開となります	指示どおり内服してください		退院後の生活について ①飲酒は次回受診までさ けましょう ②主治医の許可があるま で激しい運動はさけましょ う ③自転車や単車で陰部の 圧迫は避けましょう ④中止となった薬の再開は 次回受診時に確認してくだ さい	
検査	特にありません		血液検査があります	特にありません		★次の症状に注意★ ①傷の痛みあり傷口が腫れた り、傷口の周辺に熱感がある時 ②傷口から出血している、もし は傷口が開いている時 ③38℃以上の発熱が続く時		
処置	適宜検温をします	手術前に深部静脈血栓予防の 靴下をはきます	心電図や酸素をつけます 術後状態に応じて外します 適宜検温行います 傷口や管の観察をします	傷口の管を抜きます ガーゼが汚れている場合は 交換します 適宜検温をします 歩行可能であれば深部静脈血栓 予防の靴下は脱げます	適宜検温をします 傷口の観察をします		上記の症状があれば下記に 連絡し相談してください	
活動	制限はありません		ベッド上安静になります 体勢を変えたい場合は看護師 がお手伝いします	医師の診察後 歩行が可能になります 初めて歩くときは看護師が 付き添います	制限はありません		緊急連絡先 072-469-3111 平日・8:45~17:00 Gブロック泌尿器科外来 それ以外は救急外来	
食事	夕食以降は 何も食べないでください	絶食です 水分は 時以降飲みません	手術後3時間後から 水・お茶が飲めます 初めて飲水するときは看護師が お手伝いします	朝から 食事が始まります	制限はありません			
清潔	自宅で入浴を済ませて 来院してください ひげそりをしてください	手術前に洗面、歯磨きを してください	特にありません	体を拭きます 看護師がお手伝いします	傷口の状態をみてシャワーをすることが できます 傷口は泡で優しく洗ってください			
排泄	制限はありません	手術前に排泄を すませておいてください	尿の管が入ってきます 排泄はベッド上で行います 看護師がお手伝いをします	主治医の診察後 尿の管を抜きます	トイレで排泄ができます			
指導	わからないことや不安な事があれば看護師にお尋ねください		痛みは我慢せずにナース コールでお知らせください	傷口が汚れないように排泄時は注意してください 傷口の痛みやガーゼが汚れた時は交換しますのでお知らせください				
説明	手術室看護師と麻酔科医師の 訪問がありますので 自室で待機してください 外来で渡された同意書類を忘れず お持ちください	義歯・指輪・時計・コンタクトレンズ 湿布は外しておいてください ロングヘアは束ねてください	主治医より手術の 結果を説明します	検査結果については適宜主治医から 説明します 退院後の生活に不安があれば ご相談ください	午前中に退院となります 精算は事務員が病室へ 説明に伺います 土日、祝日退院は後日となります			

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。

りんくう総合医療センター 6海病棟 作成：2015.03

改訂：2024.10

説明日： 20 年 月 日

主治医(説明医)：

Ⓢ (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。

本人/家族等：

続柄：